

川崎医療福祉大学 同窓会会報

vol.14
2010.August

Kawasaki University of Medical Welfare

CONTENTS

- 大学トピックス
- 同窓生の声
- 卒業生 **得** 情報コーナー
- 同窓会決算報告
- 同窓会支部の動き

第4回

ホームカミングデー開催!!



今年も2日間、ホームカミングデーを開催致します。皆様お誘い合わせのうえ、ふるってご参加下さい。この機会に同窓生同士の交流を深めていただければと思います。参加申し込みは、下記、同窓会本部までご連絡をください。

平成22年10月9日(土)・10日(日) 10時～17時

(学園祭と同日開催)



場所 川崎医療福祉大学 厚生棟 3階レストラン

参加費 無料

内容 楽しいイベントを企画中です。お子様連れでもゆっくり出来る空間をご用意いたします。内容詳細は決定次第、同窓会ホームページに掲載いたしますのでご覧下さい。
<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/ds/>



こちらからアクセスできます。

参加申込み 同窓会本部宛

TEL/FAX 086-462-8541 (月・火・水 9時～12時以外は留守電になります。)
E-mail: dosokai@mw.kawasaki-m.ac.jp

新たな試みについてどう思われますか

川崎医療福祉大学同窓会 会長 尾田 幸夫
(健康体育学科1期生)

同窓会会員のみなさん、お元気ですか。各方面にてご活躍のことと思います。

同窓会は今年で16年目の年となり、今年の3月に第16期生897名を新たに会員にお迎えすることができました。それによって平成22年度の会員数は12,061名となっております。

また、今年度は学校法人川崎学園創立40周年ならびに大学開学20周年という節目の年でもあります。

今年度も会員のみなさんにとって少しでもお役に立てる同窓会となれるよう、会の運営を行ってまいりたいと思っております。本年度もどうぞよろしくお願い致します。

さて、会員のみなさんにとって同窓会が何をしているのかということについて、分かりにくいと感じている方もおられると思います。会員データの収集・更新や会報の作成・発行、大学学園祭に合わせて開催しているホームカミングデーなどありますが、みなさんが実感できるものとしてはやはり支部会を盛り上げ、参加していただける場を提供することだと思います。それは、地方支部や学科支部を通して、同じ大学を卒業した者同士が交流し、その後の暮らしに変化やプラスになるものが得られると考えているからです。

昨年度、私は関東支部と広島支部に行ってきました。どんな人に出会えるだろうか。参加して良かったと思ってもらえるだろうか。とドキドキしながら出席します。参加した方々がどう思ったかはわかりませんが、私がいつも思うのは、自分の知らない世界でがんばっている人に直接出会い、話が聞けて元気や勇気など明日への活力をもらえることが支部会のいいところだなと思います。また、その中で生まれるつながりは、後輩たちへの就職活動にも寄与できるものになっていくと思います。

また、今回関東支部に参加した後宿泊した「ホテルイースト21東京」は、会員の方が勤めておられるホテルでした。私は兵庫県の尼崎に住んでいるので、日帰りにはできないので、どうせ泊まるなら会員の方が勤めているところに行こうと思い連絡を取りました。さらにその方が上司に取り合ってくださいと通常より安い値段で泊めていただきました。泊めてもらえる私は安く宿泊でき、ホテルイースト21東京さんも一人でも宿泊客が増えたのであれば、これはとてもいいことだと思いました。

このような会員同士のつながり方について、みなさんはどう思われますか。このようなことが、すべての会員にできればいいなと私は思いました。私は公立小学校に勤めているので、このようなことは提供できませんが、他にも企業にお勤めの方やお店、施設を運営されている会員の方がおられれば、お互いのニーズがマッチする仕組みがあればいいと思いませんか。私は、是非今後の同窓会活動の新たな試みとしてこのような仕組みができないだろうかと考えています。このことについて、みなさんからご意見・ご感想を同窓会本部までいただきたいと思っております。

最後になりましたが、今後ともみなさんと共に同窓会、母校川崎医療福祉大学が発展していきますよう会員一人ひとりのお力添えをよろしくお願い致します。また、会の運営に必要となります会費が未納の方や住所を変更されお知らせいただけない方がおられましたら、同窓会本部までメールや電話、Faxでご連絡をお願いします。

これからも会員のみなさんのますますのご活躍をお祈り申し上げます。





川崎医療福祉大学 創立20年記念シンポジウム

テーマ 「川崎医療福祉大学20年の歩みと今後の展望」

概要 1991年、全国に先駆けて「医療福祉」という新しい視点で開学した川崎医療福祉大学は創立20年を迎えました。本学の掲げる「医療福祉」とは、医療と福祉の融合であり、その目標は「人間の尊厳の確立」です。このシンポジウムでは、これまでの20年を振り返り、建学の精神、教育理念と人材養成の目的、本学の特徴ある教育・研究、本学が担う社会的使命、地域との連携などの取り組みをたどるとともに、その内容を「評価」し、今後の課題を「期待と展望」として捉えてみたいと思います。

日時 平成22年 9月25日(土) 13:00～16:00

会場 川崎祐宣記念講堂

プログラム

- 13:00～13:30 第1部 講演「目で見る本学の20年」
田口 豊郁 (本学 医療福祉学科 教授)
- 13:30～14:15 第2部 基調講演「医療福祉の思想と今後の課題」
岡田 喜篤 (本学 学長)
- 14:15～14:30 休憩
- 14:30～16:00 第3部 シンポジウム
「川崎医療福祉大学のこれまでとこれから ～本学に期待されるもの～」
- コーディネーター：大田 晋 (本学 医療福祉学科 教授)
シンポジスト：江草 安彦 (本学 前学長)
伊東 香織 (岡山県倉敷市長)
尾田 幸夫 (本学 同窓会長)
川上 紀子 (本学 同窓会副会長)

対象 一般市民 医療・福祉施設職員 本学同窓生 本学在学生 本学教職員

主催 川崎医療福祉大学

共催 川崎医療福祉大学同窓会

後援 岡山県、倉敷市、倉敷市教育委員会、社会福祉法人岡山県社会福祉協議会、社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会、山陽新聞社

参加費 無 料

申込方法 同窓会HPの会員向け情報の「ご意見・ご感想」のフォームから、題名欄に「20年記念シンポジウム」、メッセージ欄に「卒業期・学科・氏名(旧姓)・記念シンポジウム及び懇親会へ出席」と記入して、8月末までに送信してください。
HPを見ることが出来ない方は、同窓会本部まで電話086-462-8541(月・火・水9時～12時以外は留守電)でご連絡ください。

お問い合わせ 〒701-0193 倉敷市松島288 川崎医療福祉大学 公開講座係

電話 **086-464-1021**(直通)

または**086-462-1111**(代表) 内線**54227**(教務課)

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/>

岡山県生涯学習大学連携講座

<http://www.pal.pref.okayama.jp/kouza/nobi/index.html>

懇親会開催(参加無料)

シンポジウム終了後、16:30～懇親会を行います。ふるってご参加ください。

活躍する卒業生との出会いから



川崎医療福祉大学 副学長 梶谷文彦

普天間基地代替施設移設問題に絡み、徳之島に多大な影響力を持っている徳州会理事長の元衆議院議員徳田虎雄君に鳩山首相が4月28日面会を求め協力を要請した。会談の様子がテレビで放映されたが、徳田君の秘書として付き添い、意思疎通の手助けをしている菊池豪さんは川崎医療福祉大学の一期生である。

ALS（筋萎縮性側索硬化症）に罹患している理事長は会話が出来ない。17年間にわたる秘書経験から菊池さんはほとんどのプロジェクトの内容や人間関係が頭に入っているため、理事長の考えを予測しながら文字盤で示し、理事長の目線によりそれが正しいと確認出来ればそれを使い、誤りであれば次の候補を指して理事長の目線を何うというふうにして意思疎通を図っているようだ。

2007年の12月、徳田君も梶谷に会いたいと言っているとのことで、葉山徳州会病院の病室兼理事長室を訪ねた折、彼の助けを借りながらコミュニケーションした。全く違和感なしで会話ができたと驚き、「素晴らしい方ですね」と言ったところ、「彼は川崎医療福祉大・医療情報の一期生ですよ」と紹介された。思いがけない出会いで、誇らしく嬉しかったことを思い出す。

彼は理事長秘書室長として、全国の徳州会関連施設から集まってくる重要な事案の報告を理事長に伝え、それに対する理事長の承認・不承認、そして指示をそれぞれの施設に伝えている。最近は夜に帰宅する事ができるようになったが、秘書の仕事についての当初と徳田君がALSを発症した数年間は24時間付きっきりの仕事であったそうである。並々ならぬ精神力の持ち主、それだけに信頼も厚く、まさに徳州会のキーパーソン、社会貢献の大きさは測り知れぬものがある。

徳田君は2002年からALSを患っている。様々な運動系の筋肉が障害される難病であるが、現状について「今の私は呼吸も食事もしなくていいので雑念がなく、かえって頭は以前よりよく働いてくれる」と病室兼理事長室で人工呼吸器や経管栄養に身を委ね、采配を振っている。徳之島は鹿児島からジェット機で約1時間のフライトということであるから南海の孤島ともいえよう。彼はこの島出身で小学校3年の時に3才の弟を病気で亡くしている。医療過疎の地のせいもあり、医師の往診も間に合わなかったそうである。そのトラウマが強い動機づけとなり、自分が医師になって医療を良くしようと決心した。大阪の高校へ行って医学部に進みたいと父親に頼み込んだところ「畑を売って学資を出そう。だから畑がなくなるまでには医学部に入るように」との返事をもらい、勇躍大阪に出てきたとのことであった。彼とは大学の同級生で、クラブ（東南アジア医学研究会）も一緒だったので、親しく付き合っていた。彼の印象を一言でいうと“何事にも一途でパワーの塊”。腕力も強かったように思う。「今日もどこかで誰かが私達の助けを待っている」という医療過疎地の徳之島で培われた気持ちと、「生命だけは平等だ」の理念の下に、現在、徳州会グループは徳之島徳州会病院をはじめブルガリアにあるソフィア徳田病院など67の病院と211の医療・福祉施設を運営している。徳州会の国内外での展開については、すでに多くの本が出版されているので、それらを参照していただきたい。

我が大学出身者の方々が各分野で活躍されているが、今回は身近に接する機会を得た菊池豪さんを紹介させてもらった。

卒業生12,061名のあなたへ

健康体育学科 教授 長尾 憲 樹

本年4月1日より、いよいよ20周年目に入った川崎医療福祉大学であります。皆さんの母校の有り様は、ホームページ、同窓会誌等でご覧になっていることでしょうか。ご承知のように、現在、3学部12学科3研究科で構成されていて、5月1日現在の在校生は、3,803名であります。本邦で初めての医療福祉の旗の下から、巣立った学部卒業生は、12,061名となりました。

この間、平成の大合併、高齢者医療制度、介護保険、障害者自立支援法等々、そして、政権交代、我国の医療と社会福祉の政策と地方自治の現状は、大きく揺れ動いてきました。正に、夫々の資格等を生かして働かれている現場では、切実なる問題が多数あると思います。

母校に目を転じますと、皆さんが在学していたとき、芝生の中は立ち入り禁止でありましたが、今年より川崎祐宣記念講堂南側に面しているバラの花壇の芝生が立ち入り自由となりました。

一方、本年3月15日より敷地内全面禁煙が実施されました。来校して解ると思います。煙ゼロの大学、空気の美味しさを体感してください。ところで、約10%の在校生に存在している喫煙者に、禁煙・卒煙への対応が大問題になっているのも事実であります。皆さんの後輩は、学友会の総会にて、禁煙宣言を行い、これから実際の行動へと向かおうとしています。

さて、昨年11月初旬に、尾田幸夫同窓会長と広島県支部会の集まりに初めて参加しました。支部会長の小林氏は家族総出で運営に協力し、盛り上げてくれたのです。1期生から15期生まで同窓生22名の自己紹介から現状に至るまで話に花が咲き、卒業生皆さんのエネルギーを身近で実感できました。

以前、同窓会誌(2003.Vol.7)にて「卒業生諸君は、医療福祉の現場で、私の道すがらの思いで以上に、日々現実の社会と向き合って仕事をこなす生活していることであろう。今、どのような問題に直面しているのか。その忙しさの中で、あなたの学んだ川崎医療福祉大学での教育は、どのような位置を占めているのだろうか。是非、卒業生諸君の生の声を聞きたい。」とメッセージを送りました。今も思いは、変わっていません。年代ごとに、あなた自身の中で母校の位置付けは、どうでしょうか。

本年9月25日には、20周年事業としてのシンポジウムが、企画されていますし、10月9日～10日の川崎学園創立40周年記念：学園祭(統一テーマは、ROOTS ～新たなスタート～)では、ホームカミングデイが予定されています。今年こそ、青春の母校に、来たりて共に語らんことを、切望いたします。

半袖の虎：長尾憲樹

2010年度 **川崎医療福祉大学 第36回川崎学園祭**

開催日 2010年10月9日(土)・10日(日)

テーマ **ROOTS** ～新たなスタート～

同窓生の声

- 1 学生時代に所属していた部活動・サークル活動があれば教えてください。また、その活動中にあったエピソードがあれば書いてください。
- 2 大学時代にあった思い出話を書いてください。
- 3 最近あった出来事で楽しかったことや考えさせられたことがありましたら書いてください。
- 4 次号の会報に原稿を書いていただく方を推薦してください。どのようなつながりの方ですか？（学科・部活・サークル）



三宅奈々絵 (旧姓：三宅)

臨床栄養学科 6期生

- 1 部活動・サークルには所属していませんでした。
- 2 学生時代は実習やレポートに追われた日々を過ごしていました。

社会に出ると、学生時代の大変さはいい思い出話となっていますが、その過程で学んだことが、管理栄養士として働く上で、大変役に立ったのを覚えています。今思うと、個人的には妊産婦や赤ちゃんについての勉強や実習をもっと沢山しておきたかったと思います。なぜかという、現在ママや赤

ちゃんに接する機会が仕事上とても多いからです。

- 3 ベビーマッサージってご存知ですか？今とても注目されているママ（勿論パパも）と赤ちゃんとのコミュニケーション（スキンシップ）の一つです。赤ちゃんの心身の発達、免疫力・内臓機能・運動機能のアップなどの効果が期待できるだけでなく、ママも子育てに余裕やゆとりが持てるようになります。私も子育てをする中で、ベビーマッサージに出会いました。そして、更にもっと多くの人に知ってほしいと思い、セラピストになりました。現在、倉敷市を中心にベビーマッサージ教室『紅りんご』を開催しています。HP <http://www3.kct.ne.jp/~miyake910>。

- 4 山下 志磨 (臨床栄養学科 6期生)



安井 千晶

医療福祉環境デザイン学科(インテリア専攻) 3期生

- 1 部活は所属していませんでした。
- 2 友人とプレゼンが終わった日に「映画を観に行こう」と元気よく出掛けた日のことです。疲れていた二人は本編の開始10分後くらいには夢の世界へ入り込んでしまいました。お互いに相手が観ていたであろうと希望を胸に目を覚ましますが、どちらも寝ていたため結局内容はわからないままになりました。

こんな日を含め、とにかく時間の中を駆け巡りながら課題をして、遊ぶときは遊んで、睡眠時間は3時間な生活に慣れていました。寝なくても生きていけると勘違いをしていた大学生活でした。

私はよく色々な方向から友達同士、知り合い同士がつながります。その度にビックリしますし、未だに慣れません。京都で岡山の方と出会った時は衝撃的でした。こうしたつながりから新たな交友関係やビジネスが生まれているので、改めてつながりを大切にしていきたいと思いました。次はどんなつながりが生まれるのでしょうか。

- 3
- 4 石橋 鉄也 (医療福祉環境デザイン学科)。
ゼミの後輩です。

白井 匡輔

医療福祉学科 8期生

- 1 スポーツチャンバラサークル。素敵先輩、後輩に恵まれました。特に後輩達とは、毎週水曜日に何故か鍋パーティーをやっていましたね。また、大阪で毎年全国の大学との合同練習をやったり、大会も全国各地に電車や夜行バスで行っていました。マイナーなスポーツですが、とても楽しかったです!!

- 2 1年生のときにしし座流星群をアパートの屋上で友人達と寝転がって明け方まで見ていたのを今でもよく覚えています。大学時代は何故か男4人でいつも一緒でした。また4人で会おうぜ!!
- 3 子供が生まれました。2人目です。上の子は、ちょっと前まで話せなかったのに、今ではよくしゃべります。子供の成長は本当にはやいです。自分も子供達と年齢に負けないよう、肉体的にも成長していきたいです。
- 4 牧野るみこ (医療福祉学科) サークルです。サークルのみんな例のやつ今年もあるんで、よろしくね!!



重松真由美

医療福祉マネジメント学科 3期生

1 吹奏楽部に所属していました。練習は基本週3日でしたが、演奏会やコンクールの前になるとほぼ毎日、可能な時間いっぱいまで練習していました。帰りも遅く、いつもクタクタでしたが、演奏会を終えた時は達成感を味わうことができました。また全国大会出場という貴重な体験もさせていただきました。どんなにつらくても辞めずに最後まで続けられたのは支えてくれる仲間がいたからだと思います。みんなには心から感謝しています。

2 大学時代はほぼ毎日学校に居た気がします(笑) 毎日忙しかったですが、振り返ってみれば、どの思い出も一つ一つが大切なものとなりました。その中でも印象に残っ

ている一つは、4年生になってゼミの先生に黙って部活を続けるつもりが、すぐ知られてしまったことです。私が所属していたゼミは卒論をする上で部活など続けられるほど甘くないと言われていたので、知られた時は内心冷や汗をかいてました(苦笑) 卒論と部活の両立は大変でしたが、メリハリをつけて取り組むことで、より有意義な日々を過ごせました。そんな私でも最後までしっかり指導してくださった先生方には本当に感謝しています。

3 社会人になって5年目に入りました。5年目とはいえ、まだまだ未熟だなと感じることも多々あり、悩みはつきません。それでも頑張っていけるのは、今でも近くに話を聞いてくれる友人たちがいてくれるからだと思います。また最近、一般の吹奏楽団に所属して楽器を本格的に再開しました。これから仕事だけでなく、プライベートも充実させていきたいと思っています。

4 山本 真理 (医療福祉マネジメント学科 3期生)。同じ学科ゼミでした。

橋村 大作

臨床心理学科 3期生

1 サッカー部 一年間。

3 卒業後、就職はせず、大学時代に欧米を旅した時に会ったガラス工芸の世界に入りました。吹きガラスという分野です。180°の方向転換でした。各地の工房で修業をしたのち、2006年よりやっと一人で活動しています。まだまだ先の見えないことばかり、あと何年たったら自分の作りたいものが見つかるのかもわからない…。という現実ですが頑張っています。どの分野もきっと同じだと思います。

どのようにしてここまで続けることができたのかわかりません。ただ社会にできればみな同じ、常に自分は何ができるか、なにかやりたいのか?を考え、悩み行動していく。と知らずとまわりの接する人々が、自分を先へ先へと背中を押してく



れるように感じます。時折、個展に先輩や、後輩、先生方が来てくれることもあります。いろんな所でいろんな人々と川崎医療福祉大学でつながれる事は、大変うれしいことです。今まったく違うことをしていますが、自分がいた過去がとても意味のあることに思います。先日は倉敷でのクラフト展に参加し、偶然再会した人なんかもいました。

どこでどのようになるか先はわかりませんが、こういことがとてもうれしいことなのです。

4 五木田義之 (臨床心理学科 3期生) 同じ学科でした。



川上 豊

医療福祉学科 6期生

主な活動としては、サッカーの試合をよくやりました。マイナースポーツと言う割にはメジャーなスポーツばかりでした(笑)

2 大講義のあとよく、みんなでドライブに行っていました。いつも朝帰りで、その日の講義が眠たくて大変でした。

3 昨年からは新規就農で農業(ほうれん草・こまつな栽培)をはじめました。日々大変ですが楽しく毎日過ごしています。最近考えさせられたことは、今農業に携わっていて、今後の農業、食育がどうなるのかが心配です。一度在校生の方々に聞いてみたいですね。

4 鈴木 隆正 (医療福祉学科)。同じ学科 サークルの友だちです。





安井 大輔

医療福祉学部保健看護学科 3期生

- 1 テニスサークル「she's fish」に所属していました。
- 2 3年次の過酷な(?)臨床実習は、今でも鮮明に覚えています。

実習時は指導をしてくださる先生方や看護師の方々を、厳しい・厳しくないで評価していたので、今思えば当時の未熟で非礼な自分が恥ずかしいです。

実習はその後の看護観を形成する第一歩だったわけですし、

楽しかったことや辛かったことの全てが今となっては良い思い出です。

3 大学院卒業と同時に臨床を離れ、順天堂大学医療看護学部の助教として教育・研究に携わるようになってから4年になります。

大学時代は成績も態度も良いわけではありませんでした。そんな自分だからこそ学生達がどのようなことで悩み、困難を感じているのか、どうやったら看護に興味を持てるのか、などをより身近に考えられるのではないかと思っています。目標に向かって一生懸命な学生達と触れ合うことが今の楽しみです。

医療情報学科 1 期同窓会

医療情報学科 1 期 中谷昇一郎

平成22年5月1日、『まつのき亭』で、医療情報学科1期生の同窓会を開催しました。最初は私の『久しぶりに会いたいなあ』という単なる気まぐれから始まり、気が付けば1期生全員に声をかけ、はたまた先生方にもお誘いをかけることとなりました(汗;) レセプト時期ということもあり、恩師、お子様も含めて総勢34名と少人数ではありましたが、とても楽しいひと時を過ごすことができました。会場では懐かしさのせいか、最初からかなりテンション上がっていました。みんなの楽しそうに笑いながら話しているのを見ると、『やってよかったあ』と幹事冥利につきました。

お酒もまわり、程よい頃に一人ひとりに近況報告をしてもらいました。みんなすごく凛として見えました。会社を動かすほどのガッチリおじさん! 子育て奮闘中の美人ママ! 鬼嫁を持つ肩身狭い夫! 自由を愛するスレンダーガイ! …などなど、みんな変わってないようで実はすごく成長しているんですね。あの頃共に学んだ朋友が、それぞれの道を選び、また再会するってほんとと素敵です。

恩師には、近藤先生、田中先生、谷口先生、堀先生、渡邊佳代先生、そしてそして、医療情報学科のドン! 上田先生にご参加いただき、ありがたいお言葉や、近年の大学の様子な

どを、お話いただきました。人と同様、大学もかなり発展していることに驚かされました。上田先生、今回は、同窓会前日にご連絡しますので、一緒に飲んだり食べたりしてくださいね!!

そんなこんなで2時間半、あっという間に過ぎました。参加して下さった皆様、ご多忙中本当にありがとうございます。楽しかったですね。今回予定があり参加できなかった皆様、今回は是非ご参加ください。何百日分のたった数時間です。嫁が実家に帰っていても、子供が風邪をひいていても、たとえ仕事が忙しくても、次回の開催日だけは空けてください。きっと笑顔になれますよ。

この会を開催するにあたって協力してくれた辻田君、西田君、渡邊佳代先生、本当にありがとうございました。初回にしては成功ですかね。今回をきっかけに今後も続けていきたいと考えています。待ち遠しくてしかたないという会に、みんなで盛り上げていきましょう。次回の幹事は……あなたです。

またお会いできる日を楽しみにしています。皆様のご健康とご多幸をお祈りしています。



定例開催『看護の日』公開セミナー

保健看護学科

保健看護学科の卒業生の皆さん、お元気ですか？

保健看護学科では近代看護の祖と呼ばれるナイチンゲールの誕生にちなんで、毎年5月の第4土曜日を『看護の日』と銘打って保健看護学科公開セミナーを開催しております。

今年度も在学生・卒業生、一般、近隣大学教員が公開セミナーに参加し、のべ500人もの参加者が一堂に会しました。さらに、公開セミナー終了後は研究領域別に分科会も行なっており、研究活動や日頃の実践報告や臨床的な課題についても活発に議論できる機会も設けております。そのため、大学院進学への契機や新たな展望、研究の必要性などについても

考えることができる契機です。一度、母校に足を延ばしてみませんか？

尚、次回の公開セミナーは平成23年5月28日を予定しています。卒業生の皆さんのお越しを、心よりお待ちしております。



医療情報学科 退職記念パーティー

医療情報学科 講師 渡邊 佳代

平成22年3月20日（土）の18：00～20：00、川崎医療福祉大学厚生棟3階レストランにおいて、太田茂先生、谷口和夫先生、堀義巳先生、山本裕陸先生のご退職をお祝いして退職記念パーティーを開催しました。太田先生、谷口先生、堀先生のお三方は1991年の本学科創設以来19年間勤められてきた先生方で、山本先生も1995年に高知大学から本学に移られて以来、15年間の間医療情報学科にご尽力された先生です。この4人の先生方が指導された卒業生は何と531人、医療情報学科の第1期生～第15期生総勢1,683人のうち、何と31.6%もの学生さんを世に送り出している大殊勲者達です。

当日は、野澤学科長の挨拶から始まり、太田先生の最終講義を拝聴し、その後歓談を経て谷口先生、堀先生、山本先生からのお言葉を頂戴し、最後は拍手で先生方をお送りしました。この退職記念パーティーには、4人の先生方のゼミ生を中心とした73人もの卒業生が駆けつけてくれ、さながら同窓会といった風情でした。散会となっても名残惜しいのか、いつまでも会場をあとにしようとする、先生方や卒業生の方

同士で近況報告や昔懐かしい話など、いくら話しても話が尽きない様子でした。中には2次会に繰り出すグループもあって、楽しい一時を過ごすことができたようです。

卒業してずっとお仕事を続けられ立派になられた方、ご夫婦で参加された方、お子様連れの方など、顔を見ると卒業した当時と変わらない、あの時のままなのに、それぞれの場所で立派に生活されている様子が垣間見られて、時の流れを感じるとともに、嬉しい気持ちで一杯になりました。この学科にとって卒業生は本当に財産だなあ、とつくづく思った次第です。73人の内訳は次の通りです。1期生：11人、2期生：6人、3期生：10人、4期生：1人、5期生：9人、6期生：2人、9期生：4人、11期生：5人、12期生：12人、13期生：8人、14期生：5人。

今回の退職記念行事では、4人の先生方が大変喜んでくださいました。参加していただきました皆様、メッセージを届けていただきました皆様、記念品をお送りいただきました皆様、先生方にとって何よりの宝物となったことと思います。皆様の優しさに感謝です。誠にありがとうございました。



松栄会開催される

臨床栄養学科 教授 松枝 秀二

松栄会とは、文字通り松が栄える、松枝が栄える。松枝ゼミが栄えることを願って命名された松枝が主宰するゼミナールの名称です。この名称は私の医療短期大学時代の教え子(5期生)が名づけ親です。その当時から現在に至るまで絶えることなく続いていますから、ある意味20周年以上になるかも知れません。

ということで、集まってくれるのは短大時代のゼミ生と福祉大学のゼミ生たちです。現在は、短大時代のゼミ生の出席率が低くなっていますが、合同で行っているゼミは臨床栄養学科でも少ないのではないのでしょうか。私自身、今福祉大の臨床栄養学科があるのは、医療短期大学に栄養学科を守田哲朗先生が、作られたからだとも今でも思っていますから、少なくともわがゼミ生にはその思いを共有してほしいなと思っています。別々に開催すればいいのかも知れませんが、今一度原点に帰って一緒にやることに執着したいと思います。

その短大の卒業生も立派になって、福祉大学の卒業生を採用してくれる立場になっています。うれしいかぎりです。人が育っていく様子をそばで見ることができる。このことが教員の大きなよろこびではないのでしょうか。このことを忘れては教員はつとまらないと思います。在学中は厳しいことも言いました。指導もしました。でもそれを乗り越えてきたから

現在のみんながあると思っています。そのことを懐かしむ会でもあります。あの当時は～だったねといった風に。大学4年間で学生を大人にすることが難しくなっています。彼ら彼女らは横のつながり、フラットな関係しか築くことができなくなっています。フラットな関係だけでは、変化する、成長する刺激を得ることはできません。

教員をはじめとする彼ら彼女らを取りまく大人たちはそのための刺激剤であるべきです。やさしい避難所だけであってはならないと思います。そういう意味でも、松栄会を開催して、学生さんと卒業生が交流することはゼミの繁栄ももちろんですが、学生さんの成長にもつながるのです。

松栄会は、毎年福祉大学東門を出たところにある、笑門というお店で開催されます。このお店は福祉大学が出来るとほぼ同時に開店したこともあって私自身大変お世話になっています。大将は口うるさいけどいい人で親身になっていろんな相談にのってくれます。場所と日時を毎年一緒にしておくこともこのような会を長く続ける秘訣かなと思います。

会が終了すると、ゼミ生の学生をつれてカラオケでお疲れさん会をやりませう。締めめの歌は天城越えです。この歌にもわがゼミのポリシーがはいっています。ぜひみなさん歌ってみて、感じてやってください。

医療福祉大学が20周年を迎える年にサッカー部OB会も20年を迎えた？

サッカー部 監督 松枝 秀二

今回同窓会からサッカー部OB会についての記事依頼がありましたので、書かせていただきます。サッカー部は福祉大学創設時から活動をはじめました。グラウンドが未整備だったため当時の短期大学グラウンドを借用して練習しました。

私はその当時短期大学の教員でしたので、相手チームとして対戦したことを覚えています。その1期生も本学が創立20周年を迎えることを考えると、40歳に近い年齢になっています。多くの人が社会に出てがんばっている反面、まったく音信普通の人もあります。OB会も1期生の努力によってはじめられた面もありますが、2期、3期とOB会の責任者が変わっていくにつれて運営面でもうまくいかなくなってきました。そこで、2・3年前からOB会をもっとしっかりしたものにしなさいという要望が出てきました。新しい会長を選出して組織作りを行うことを決めました。これが可能になった背景には、卒業地元岡山に残ったり、一旦県外に出た者が帰ってくるが増加したことも要因だと考えられます。

写真は今年2月6日(土曜日)の午後なつかしいグラウンド(といってもグラウンドは今日までいろんな形に変化していますので、OBにとっては初めての人もいます)開催された時の写真です。現役の学生さんも含まれていますが、総勢50名を超える参加者でした。正直現役の学生さんを越える人数でした。約2時間ほど何組かに分かれてゲームを行いました。OBも年齢があがると動きも遅く、怪我人も出てくるようです。生涯スポーツのあり方を考えさせられる光景です。午前中は学内でOB会を開催して、現役の幹部の挨拶、大会結果報告等を行い、新規事業の検討等を行いました。夜は、懇親

会を中庄駅近くの居酒屋で行いました。OB達はお酒が好きな人も多いし、興が乗れば現役学生にも飲ませてしまうので、現役学生の参加は3年生以上としています。

この居酒屋さんはサッカー部員もよく利用するので、店の店長には卒業生の結婚式などでよく出会います。お酒はみんなとの会話を盛んにする手段だと私は思っているので、学生さんだけの飲み会とはかなり違った雰囲気があります。学生さんもはやくそんな飲み方ができるようになればと思います。たださわぐだけの飲みは意味がないと思っている今日この頃です。

最後になりましたが、入試前日の日にもかかわらず会議室等をこころよくお貸しいただいた大学事務部に感謝いたします。



川崎医療福祉大学吹奏楽部ハートフルウインズの アメリカ遠征公演に対するご支援への御礼

平成22年3月

この度は、吹奏楽部ハートフルウインズのアメリカ遠征につきまして、暖かいご支援を賜り大変ありがとうございました。私どもの活動にご理解とご賛同をいただきましたことに対しまして、部員一同深く感謝致しております。

この遠征を行うに当たり、様々な困難がありました。その一つ一つを解決していく中で、私たちの日々の活動が多くの方々への支えの上に成り立っていることを、改めて強く感じました。コンサートを成功のうちに終えることができ、全員無事に帰国することができたのも、周囲の方々への支えがあったからこそだと思っております。

ご支援をいただいた全ての方々へ感謝申し上げますとともに、今回の経験をこれからの活動に生かしていきたいと思っております。今後とも吹奏楽部ハートフルウインズをよろしくお願いいたします。

吹奏楽部ハートフルウインズ部長 長谷川 未樹

この度の心温まるご支援、誠にありがとうございました。皆様のお心遣いは学生たちにとって大きな励みとなりました。

おかげさまで、全米大学バンド指導者協会（CBDNA）のコンサートにおいても日本代表としての責務を無事果たすことができました。また、遠征中に大きなトラブルに見舞われることもなく、部員一同、有意義に遠征を終えて帰国することができました。

コンサートの成功はもとより、練習会場や宿泊施設、その他の様々な活動の場において、学生たちは常に礼儀正しく、規律正しく、また大変よく気が付くと、現地の多くの方々からお褒めの言葉をいただきました。皆様のご支援に恥じない行動ができたこと、顧問として誇らしく思っております。

どうか、今後ともハートフルウインズの活動にご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。

吹奏楽部ハートフルウインズ顧問 古川 直裕



CBDNA大会のメインコンサートの演奏風景
指揮者はハートフルウインズ常任指揮者の岩田 俊哉 氏



全米大学バンド指導者協会南部地区大会会場
(ミシシッピ州立大学フォードセンター)
フォードセンターは、以前の米国大統領選で、
オバマ候補とマケイン候補が最初に公開討論
したホールとして有名です。

医療福祉学科

■第22回内観療法ワークショップ

主 催：日本内観学会
 日 時：平成22年10月30日(土)～10月31日(日)
 会 場：川崎医療福祉大学・講義棟
 内 容：講演、シンポジウム、内観実習（希望者）など
 申込み・問い合わせ先：笹野友寿
 TEL：086-462-1111（内線54960）
 FAX：086-464-1109
 E-mail：sasano@mw.kawasaki-m.ac.jp

臨床心理学科

■学科オリジナルホームページをご覧ください

卒業生のみなさん、臨床心理学科の学科オリジナルホームページ(<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/psycho/>)はもうご覧になりましたか？

本学のホームページ内からもジャンプすることができます。学科内のニュースや、催し事案内、先生方によるコラム、卒業生さんの学科訪問記（ゲストブック）など、充実した内容です。ぜひぜひご覧ください。

特に、公開セミナー等、学科の催し事案内については、これまでに卒業された方々の総数も大きく、郵送によるものが困難になっております。よって、折々に学科オリジナルホームページをご覧いただき、参加いただければありがたく思います。

また、学科ホームページへの投稿も歓迎します。近況報告、後輩につなぐこと、就業・就学奮闘記などお寄せください。

なお、本学科の卒業生にはパスワードを発行しています。このパスワードを使ってログインすると、見てためになる心理学の話題や学科の様子に触れることができます。さらに、電子掲示板を利用して、同級生や学科教職員と情報交換することもできます。卒業生でパスワードを入手したい方は、ホームページの「お問い合わせ」の機能を用いて、卒業生であることが確認できる情報（氏名やゼミ名など）を添えてお申し込みください。

その他、卒業論文をPDF形式でご覧いただける「卒論ライブラリー」のページもあります。詳細は学科までお尋ねください。

■心理学検定について

2008年度より、日本心理学諸学会連合により「心理学検定」なるものが設けられました。この検定は学術的な多くの心理学関係学会が直接行う唯一の検定試験制度であり、大学卒業レベルの心理学の学力を証明するものです。この検定に合格することにより自分自身の心理学の学力を確認するとともに、社会的にも心理学の学力を証明することになります。従って検定合格が就職や進学に直接有利に働くとは限りませんが、心理学を学んだ自信と自己アピールに役立つものと思われまます。

なお、「認定心理士」資格所有者には、心理学検定1級受験の際、必要な合格科目領域数の優遇措置があります。

試験は年1回です。今年度の試験は8月22日(日)、本学を含め、全国10箇所で開催されます。この同窓会報発行には間に合わないかもしれませんが、今後に向けて関心を持っていただければと思います。

詳しくは、日本心理学諸学会連合ホームページ <http://jupaken.jp/> を参照ください。

■学園創立20周年記念公開講座に際して

学園創立20周年記念の公開講座が9月25日(土)午後に行われます。本学科ではこれと連動させてのゼミ毎の同窓会なども考えています。追って学科ホームページ、各ゼミよりの郵送等でご案内いたします。なお企画案があれば学科までご連絡ください。

■小さなお願い

卒業生の皆さん、学科を懐かしみ、度々ご訪問くださりありがとうございます。ただ、ご来訪いただける場合、願わくば、願わくば、事前に学科までお知らせ下さい。折角のご来訪、良いお迎えができるように!!

感覚矯正学科

■感覚矯正学科20周年記念行事

日 時：平成23年4月16日(土) 14:00～16:30
 場 所：川崎医療福祉大学 厚生棟3階 レストラン
 講義棟3階 3601教室、3602教室

*託児所付き・お気軽にご参加ください。

お問合せ先：学科長室 担当：長江
 TEL：086-462-1111（内線54904） FAX：086-464-0320
 e-mail：sensory@mw.kawasaki-m.ac.jp

臨床栄養学科

■川崎医療福祉大学創立20周年記念

平成22年度 川崎医療福祉大学 臨床栄養学科公開セミナー

「今だからこそ医療福祉における管理栄養士に求められるもの」

平成22年度より新たにNSTを行う事で診療報酬が認められるようになりました。つまり、管理栄養士が急性期のチーム医療に貢献出来る真のメンバーになり得るかが問われています。このように医療福祉における管理栄養士の役割が益々高まる中で、管理栄養士がさらに何を果たすべきなのかについて講師の方々に課題提供して頂くとともに、症例検討では、参加者全員で討論出来るセミナーを開催します。

講演1 「臨床現場における管理栄養士に求められる知識と技能・態度」
 光生病院 NST専従医 渡辺 明治 氏
 講演2 「NST加算の意味する管理栄養士の役割を考えるーNST加算要件をふまえてー」

川崎医科大学附属病院 栄養部長 河原 和枝 氏
 症例検討（コーディネーター 川崎医療福祉大学 教授 寺本 房子 氏）
 倉敷平成病院 管理栄養士 津田 和美 氏（第1期卒業生）
 岡山旭東病院 管理栄養士 星野 智子 氏（第12期卒業生）

意見交換

日 時：平成22年10月16日(土) 13:00～16:00
 会 場：川崎医療福祉大学講義棟4階4601号室
 対 象：管理栄養士・栄養士等関係者・同窓会会員・在学生・一般
 参 加 費：無料
 共 催：川崎医療福祉大学臨床栄養学科同窓会
 申込方法：氏名・駐車場利用の有無・勤務先・連絡先・卒業生の場合は卒業年度を明記の上、FAX、郵便、電子メールにてお申し込み下さい。電話での申込は出来ません。（締め切り）平成22年10月10日必着
 申 込 先：臨床栄養学科公開セミナー担当 堀尾 拓之 行
 FAX 086-464-1109
 E-Mail：mitagawa@mw.kawasaki-m.ac.jp

医療秘書学科

■日本医療秘書実務学会第1回全国大会

日 時：平成22年8月21日(土) 12:00～17:10
 平成22年8月22日(日) 9:00～15:10

会 場：川崎医療福祉大学6101教室

コメント：医療秘書職や医療事務職に関心を持つ人々が相互に啓発しあい、医療機関や社会への貢献を目的として設立された学会です。今年度は、記念講演および研究発表（20件）を予定しています。参加を希望される方は、下記までご連絡ください。詳細は、<http://jsams.sblo.jp/> にも掲載予定です。

お問合せ先：医療秘書学科 中村健壽
 TEL：086-462-1111（内線54925）
 E-mail：nakamura-k@mw.kawasaki-m.ac.jp

医療福祉デザイン学科

■「ポスター展 POSTER EXHIBITION 2011」

会 期：平成23年2月1日(火)～2月6日(日)
 会 場：岡山県天神山文化プラザ
 〒700-0814 岡山市北区天神町8-54
 086-226-5005

■第8回医療福祉デザイン学科卒業制作展

学内展
 第1期：平成23年1月18日(火)～1月21日(金)
 第2期：平成23年1月25日(火)～1月28日(金)
 会 場：川崎医療福祉大学4階展示ホール
 学外展
 平成22年3月1日(火)～3月6日(日)
 会 場：倉敷市立美術館
 〒710-0046 倉敷市中央2-6-1 086-425-6034

＜診療情報管理士について＞

医療秘書学科・医療情報学科・医療福祉マネジメント学科対象

■診療情報管理士認定試験

平成21年度から受験申し込みは、学科の仲介は取り止め、個人で手続きをおこなっていただくことになっておりますので、ご了承ください。診療情報管理士認定試験実施要項（申し込み及び認定試験の詳細）は、日本病院会 診療情報管理 通信教育のホームページ [http://www.jha-e.com/] にて7月中旬から確認できます。

また、受験申し込みに必要な「指定教科修得証明書」「卒業証明書」は、本学教務課に申し込みの上、入手してください。

入手方法の詳細は、本学ホームページ [http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/visitor/graduate_sinsei.php] にて確認できます。申し込み時には診療情報管理士認定試験の受験に必要である旨を使用目的に明記してください。発行には受付後3日程度かかりますので、余裕を持って申し込みをしてください。

なお、平成22年度の認定試験は、平成23年2月中旬の日曜日の予定です。

■診療情報管理勉強会（Chart Review トレーニング講座）

日時：月1回 日曜日に実施予定（詳細は随時お問い合わせください）

会場：川崎医療福祉大学

内容：サマリーのコーディング問題の解説、チャートレビューの個人トレーニング、病名のコーディング問題を解説、情報交換・問題点についての相談など診療情報管理業務・医療機関での業務のスキルアップを目指して。認定試験受験予定者の試験対策として。是非、ご参加ください。

連絡先：医療秘書学科 寺延美恵子

TEL：086-462-1111（内線54948）

E-mail：miekot@mw.kawasaki-m.ac.jp

医療情報学科 渡邊佳代

TEL：086-462-1111（内線54816）

E-mail：watanabe@mw.kawasaki-m.ac.jp

教務課

■創立20年記念 川崎医療福祉大学教養講座

『韓国の現代社会情勢について』

（1回目）「言葉遣い」から垣間見る韓国社会

（2回目）社会・個人に及ぼす「徴兵制」の影響

概要：

日本の隣の国と言われ、いまや文化・社会面の交流も盛んな韓国ですが、「韓流ドラマ」や旅行などから得られる情報にはある程度の偏りも存在すると思われまふ。むしろ、そういった巷の情報に整合性を持たせるためにも、現代韓国の社会情勢について考えてみることは、意義があるのではないのでしょうか？

本講座におきましては、韓国社会のすべてについて触れることはもちろん不可能ですので、まず、第1部では、特徴的な言葉遣いや表現の仕方を中心に、第2部では、徴兵制というシステムを糸口に、現代韓国社会を考えてみるきっかけにしたいと思います。

講師：本学 医療福祉学科 准教授 申 東憲

日程：平成22年10月2日(土)、16日(土)

10：30～12：00 全2回

会場：川崎医療福祉大学 講義棟4602教室

対象：一般

定員：100名

主催：川崎医療福祉大学

受講料：無料

申込方法：事前申し込み不要（当日、受付カードに記入）

お問い合わせ：

〒701-0193 倉敷市松島288

川崎医療福祉大学 公開講座係

電話 086-464-1021（直通）

http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/

その他：岡山県生涯学習大学連携講座

http://www.pal.pref.okayama.jp/kouza/nobi/index.html

■創立20年記念 川崎医療福祉大学教養講座

『殿様の日常生活』

（1回目）池田 綱政（岡山藩主）の大名生活－祖母「千姫」の御蔭をもらった幸運な男－

（2回目）「藤戸」の歴史と日本の文化－「藤戸の海苔」は将軍への献上品－

概要：

今回は、江戸時代の備前藩（岡山藩）池田家の殿様の日常生活から、岡山・倉敷の歴史や文化を検討する。池田家のなかでも、もっとも華やかで大名生活をおくった、池田綱政（1638～1714）を中心に話を進めたい。（池田家文庫や林原美術館に、史料が所蔵されている）

綱政は、池田光政の長男として誕生した。母勝子は、徳川秀忠の娘千姫（天樹院）であり、綱政は、千姫の孫として、3代家光、4代家綱、5代綱吉、6代家宣の各将軍と、親しく交際を持つことが出来、将軍家と筋目のある大名として、幕府の老中たちから接遇された。さらに綱政の姉輝子も、3代将軍家光の養女として、京都の一条摂関家へ嫁いだため、綱政は、朝廷社会とも、特別な関係をもち、岡山の後楽園は、京都や江戸の最高の文化を取り入れて築産された。また「藤戸」は、江戸時代には、能楽の「藤戸」が上演されて著名となり、「藤戸海苔」は、備前のお土産品として、将軍家へ献上されたこともある。

講師：本学 医療福祉学科 教授 神原 邦男

日程：平成22年11月13日(土)、11月27日(土)

10：30～12：00 全2回

会場：川崎医療福祉大学 講義棟4602教室

対象：一般

定員：100名

主催：川崎医療福祉大学

受講料：無料

申込方法：事前申し込み不要（当日、受付カードに記入）

お問い合わせ：

〒701-0193 倉敷市松島288

川崎医療福祉大学 公開講座係

電話 086-464-1021（直通）

http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/

その他：岡山県生涯学習大学連携講座

http://www.pal.pref.okayama.jp/kouza/nobi/index.html

図書館

■卒業生も図書館を利用できます！

卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

前回（Vol.10 2006）同様、「卒業生も図書館を利用できる！」をPRしたいと思います。利用するには、卒業時に配布された「KAWASAKI CLUB カード」をご持参ください。（すでに卒業されている方には郵送されています）本学図書館だけでなく、川崎医科大学、川崎医療短期大学の図書館を利用することができます。

さらに2009年4月からインターネットで川崎学園図書館（医福大・医大・短大）の蔵書を検索することが出来るようになりました。事前に借りたい本があるかないかを調べることが出来るので便利です。また、図書館カレンダーで開館時間も分かります。どうぞ、ご利用ください。

図書館ホームページURL：http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/library/



写真は、図書館ポスターで作った葉です。オープンキャンパスで配りました。

掲載内容に既に終了しているものがあります。ご了承ください。

同窓会支部の動き

医療福祉学科支部

医療福祉学科 1期生 長壽 厚志

医療福祉学科支部長の三石さんより頼まれ、何故か筆を取ることに・・・。

大学の膝もとであり、地元岡山で働いている卒業生である我々は、当然人数も多いわけで、まさに犬も歩けば棒に当たる状態であります。私の勤務している高齢者施設においても卒業生が6人働いていますし、また他の機関への連絡調整において、よくよくお話しを聞くと、「まあ、あなたも川福ですか!」なんていうことも珍しくありません。卒業生は見えないだけで各医療機関、施設、企業、団体等々と活躍しているようです。しかし人数が多すぎて同窓会活動としてはあまり活発ではないのが現状のようです。あえてコネクトしなくとも、近場の卒業生で必要な人間関係が構築、充足できてしまうのでしょうか。また少数派であることが価値になり、結束を生むという人の特性からすると、全く逆の状況であります。私自身としても卒業生という枠で分類すると、記憶容量をすぐに超えてしまいます。困ったものであります。

そのような状況ですが、私は最近人の出会いは偶然や確率論だけではないように思います。一つ一つの出会いは自分に影響を与え、まるで導かれているように

感じるがあります。もちろんそれらの出会いは自分にとって共感しやすい、都合のよいものばかりではありません。中には耳の痛いものもあります。他人のすばらしきところは糧とし、そうでないところは自分への戒めとする。すべての出会いにおいて無駄なものは一切ないと信じています。同じ川崎医療福祉大の卒業生であるというつながりが自分の人生に大きく影響し、変化をもたらすこともあると思います。同じ学舎から巣立ったもの同士ということがメリットになることも多いでしょう。

また大学と同窓会の関係においても、大学側は福祉の現場の第一線で働いている卒業生の生の声を必要としているでしょうし、学生の実習先としての協力も期待が大きいようです。また卒業生である我々にとっても進むべき方向を見失い、ふと立ち止まったとき大学は帰るべき原点であるし、そのとき必要としている知識や情報が得られるかもしれません。

故に同窓会活動がより活性化し、会を支える卒業生のニーズに即した、より意義のあるものになればと願います。

広島県支部

支部長 医療福祉学科 1期生 小林 由卓

2009年度から福山支部を広島県に拡大して活動しています。そこで、広島県域同窓会を平成21年11月7日(土)福山ニューキャッスルホテルにて開催しました。参加者22名と同伴の子ども6名でした。同窓生同士の情報交換や近況報告など有意義な時間を過ごすことが出来ました。大学から健康体育学科の長尾憲樹先生が参加してくださいました。同窓会から尾田幸夫会長が出席しました。みなさま、次回支部会開催にも是非ご参加ください。



関東支部

支部長 健康体育学科 9期生 河野 寛

川崎医療福祉大学OB・OGの方々、いかがお過ごしでしょうか。川崎医療福祉大学同窓会関東支部長の河野です。昨年に引き続き11月に関東支部会を開催することができました。参加者は10名程度で昨年よりも少なくなりましたが、初めて参加してくれた方もおられたので、関東支部会が徐々に広がりつつあると実感しました（写真参照）。

今年度の関東支部会は9月頃を予定しております。詳細につきましては、6月頃にメールやハガキにて案内を送付させていただきます。また、ホームページ（同窓会本部：<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/ds/>）にも内容等を掲載いたします。お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。ご意見、ご質問などがございましたら、河野寛（hiroshi@aoni.waseda.jp）までご連絡ください。



臨床栄養学科支部

支部長 臨床栄養学科 1期生 津田 和美

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

臨床栄養学科支部は、臨床栄養学科卒業生および臨床栄養学修士課程を修了の方がもれなく会員となり、卒業後の学びの場、大学教職員あるいは卒業生間の交流の場を目指した活動を行っています。

今年度は、皆様のご協力のもと住所調査を実施させていただきました。この場をお借りして、御礼申し上げます。皆様の個人情報、大学同窓会と共有し、同窓会活動のご案内に役立たせていきたいと考えております。

さて、支部の活動を始めて3年目となりますが、臨

床栄養学科の先生方にお世話になり、今年も公開セミナーを共催させていただくこととなりました。テーマは、4月の診療報酬改定により栄養サポートチーム加算が新設されましたので、NSTに関する話題です。10月25日（土）に開催され、その後、懇親会を予定しております。ぜひ、ご参加ください。

最後になりましたが、支部活動をもっと活発に行うためにお手伝いいただける方を募集しております。「参加してもいいかなあ」「もっといろんな企画をしたいなあ」とちょっとでも思われた方は、同窓会本部までご連絡ください。お待ちしております。

兵庫県支部

支部長 医療福祉学科 1期生 佃 正信

九州支部

支部長 医療福祉学科 4期生 竹下 友博

健康体育学科支部

支部長 健康体育学科 2期生 佐藤 啓介

平成21年度川崎医療福祉大学同窓会 決算報告

<一般会計>

* 収 入

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差引過不足	備 考
前年度繰越金	9,757,541	9,757,541	0	郵便普通預金 / 郵便振替口座 / 中銀普通預金
同窓会費(H 20 年度卒業生)	13,020,000	6,734,130	△ 6,285,870	15,000円×448名(1～15期卒・大学院卒を含む) / 利息 14,130円
預金利息	0	3,833	3,833	中銀普通 1,305円 / 郵便局 2,528円
収入合計	22,777,541	16,495,504		

* 支 出

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差引過不足	備 考
会計				
印刷費	35,000	34,545	455	振込用紙印刷 5,000 枚 (中銀用)
郵送費	10,000	13,820	△ 3,820	会費返金 26 件
①合計	45,000	48,365		
事務局				
行動費	400,000	678,500	△ 278,500	交通費 / 行動費等
会議費	30,000	22,380	7,620	飲物弁当等
郵送費	10,000	8,060	1,940	会議案内 / 議事録 / 会報原稿依頼 / その他
事務用品費	200,000	274,511	△ 74,511	封筒 / 文具 / コピー用紙 / 宛名ラベル / インクカートリッジ / その他
電話代	50,000	33,678	16,322	同窓会電話
人件費	800,000	704,600	95,400	
支部活動援助費	1,000,000	302,668	697,332	広島県支部 / 関東支部 / 臨床栄養学科支部
予備費	100,000	274,472	△ 174,472	ハートフルウインズ寄附金 / 駐車料金 / その他
Home coming Day 開催費	900,000	715,106	184,894	イベント / 金券 / その他
②合計	3,490,000	3,013,975		
渉外調査局				
個人情報保護法対策費	100,000	112,560	△ 12,560	調査はがき / 目隠しシール
③合計	100,000	112,560		
企画局				
会報作成費	750,000	731,325	18,675	12,000 部
会報郵送費	880,000	874,135	5,865	封入発送 10,972 通
卒業記念品費	900,000	716,815	183,185	830 本
ホームページ管理費	200,000	0	200,000	
交流費	50,000	0	50,000	
④合計	2,780,000	2,322,275		
支出合計 (①+②+③+④)	6,415,000	5,497,175		

* 繰越金

(単位：円)

項 目	決算額	備 考
郵便普通預金	8,457,712	
中国銀行普通預金	2,540,617	
繰越金合計	10,998,329	

<特別会計>

(単位：円)

項 目	収 入	支 出	決算額	備 考
積立金 1	30,162,506	0	30,162,506	中国銀行定期預金 1
1 利息	84,455	0	84,455	2009/9/3
積立金 2	20,000,000	0	20,000,000	中国銀行定期預金 2
2 利息	40,000	0	40,000	2010/3/23
合計	50,286,961	0	50,286,961	

会 計 か ら お 願 い

同窓会の活動はみなさんの終身会費で運営されています。

同窓会費15,000円は終身会費です。

現在未納の方には、振込用紙を同封していますので、よろしくお願いします。

渉外調査局からお願い

住所・氏名等変更のある方は、同封ハガキに記入して同窓会まで郵送してください。また、メール・FAXも受け付けています。

日	時	テーマ及び内容	講師	対象	定員	参加費	場所	連絡先
10月20日(水) 1月12日(水) 12:45~14:15		「対人関係の心理学」 (社会心理学B授業公開)	教授 岩淵 千明	一般 卒業生	なし	無料	4602講義室	臨床心理学科 FAX 086-464-1109 e-mail: psycho@mw.kawasaki-m.ac.jp 臨床心理学科公開セミナー係 締切 1回目:10月13日(水) 消印有効 2回目:1月5日(水) 消印有効 申し込みはハガキ・FAX・e-mailで ★駐車場に限りがありますのでなるべく公共交通機関をご利用下さい。
5月22日(土) 13:30~15:30		「看護の日ー保健看護学科からの発信ー」	教授 竹田 恵子	一般 卒業生 学生	なし	無 料	2601講義室	保健看護学科・大学院保健看護学専攻 TEL 086-462-1111 内線 54903 (申込不要)
10月10日(日) 13:00~16:00		「卒業生のためのセミナー」	社会医療法人 長崎記念病院 福井 洋一郎 (医療福祉マネジメント学 科 卒業生)	卒業生	60名	無 料	6101講義室	医療福祉マネジメント学部 医療福祉経営学科 TEL 086-462-1111 内線 55066 (渡辺) 54611 (太田)
10月3日(日) 10:10~12:40		「医療福祉の現場で働く健康 運動指導士の現状と課題」 (日本運動処方学会との共催: シンポジウム形式)	演者:伊藤三千雄、 千葉医徳、黒瀬聖司、 脇本敏裕、玉置昭平 (5名とも本学卒業生) 進行:長尾光城・文谷知明	健康運動指導士 健康運動実践指導者 運動指導従事者	なし	無料 (学生を含む、一般参加 の方) (ただし、健康運動指導士お よび健康運動実践指導者の登 録更新に係わる単位認定講習 受講証明書を希望される方は 受講料が別途、必要となりま す。詳しくは、日本運動処方 学会ホームページ(下記)を 参照してください。) 【http://www.kawasaki-m. ac.jp/mw/sports/ syohou/】	健康体育学科 TEL 086-462-1111 内線 54907 (河野) (学生を含む、一般参加の方:申込不要。当日、 氏名と所属の記帳をお願いします。)	
10月16日(出) 13:00~16:00		「今だからこそ医療福祉にお ける管理栄養士に求められる もの」	光生病院 渡辺明治、 准教授 河原和枝、 倉敷平成病院 津田和美、 岡山旭東病院 星野智子	管理栄養士・栄養士等関係者 同窓会会員 在学生 一般	250名	無料	4601講義室	臨床栄養学科 担当:堀尾拓之 FAX 086-464-1109 e-mail: mitagawa@mw.kawasaki-m.ac.jp
前期:5月11日・18日・25日 6月1日 後期:10月5日・12日 19日・26日 (火曜日)10:00~12:00		「中高年者のための水中運動」	教授 小野寺 昇	地域の皆様	各30名	1回 500円	福祉大温水プール	健康体育学科 TEL 086-462-1111 内線 54531 (健康体育学科実習室) 締切 セミナー各日の前日

○上記の内容は、本学ホームページでもご覧いただけます。(川崎医療福祉大学公開セミナー <http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/extension/03-01.php>)

○本学の公開セミナーはすべて、岡山県生涯学習大学連携講座として登録しております。(岡山県生涯学習大学 <http://www.pal.pref.okayama.jp/kouza/nobi/index.html>)

○お車でお越しの場合は、駐車場については申込時に各学科で詳細をお尋ねください。 お問い合わせ代表番号:川崎医療福祉大学 〒701-0193 倉敷市松島288番地 (086)462-1111(代)

掲載内容に既に終了しているものがあります。ご了承ください。

今年もホームカミングデイ開催します!

毎年恒例になってきましたホームカミングデイ! 毎回、同窓生のみなさまからのアンケートで「来年もぜひ!」との声をいただいております。昨年はイベントを増やし、大変盛り上がったコーナーもありました。今年も会報にてみなさまにご案内申し上げます!

詳細は下記の通りです。懐かしい学び舎の学園祭で屋台を巡ってください。この機会に同窓生相互の交流を深めていただければと存じます。また、お手伝いいただける同窓生の方も、連絡待っています!

記

日時 : 平成22年 10月 9日(土)、10日(日)

* 学園祭に併せて開催

場所 : 川崎医療福祉大学
厚生棟 3階レストラン



参加費 : 無料

内容 : お子様連れでもゆったり出来る空間をご用意いたします。(おむつ替えコーナー、授乳コーナー有り) 自由におくつろぎ下さい。イベントも企画しております。



詳しくはHPをご覧ください。また、同窓生の皆様には特別に、金券配布のサービスを予定しております。

以上

詳細は川崎医療福祉大学のウェブサイト内にある同窓会のページでご案内しておりますので、みなさま、お誘いあわせの上、多数のご参加をお待ちしております。

参加のご連絡・お問い合わせは川崎医療福祉大学同窓会本部までお願いいたします。



川崎医療福祉大学同窓会本部

HP : <http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/ds/>
E-mail : dosokai@mw.kawasaki-m.ac.jp
電話 & FAX : 086-462-8541

S T A F F

川上 紀子 (感覚矯正1期)
木村 義孝 (医療情報3期)
宮原 冬佳 (医療情報3期)
井口 浩範 (医療情報7期)
樫部 公一 (医療情報7期)

編集後記

川崎学園が創立40周年、そして川崎医療福祉大学が創立20周年を迎えました。それに伴い、さまざまな記念式典が企画されています。この会報を作成している段階ではまだ計画途中のものばかりですが、みなさんがお手にされる頃には徐々に企画が動き始めていることと思います。そして、数年後にはこの川崎医療福祉大学同窓会も20周年を迎えます。

その際には式典他イベントを企画しますので、楽しみにしててください。それまでは、毎年発行していますこの会報で情報を集めていただいたり、大学を懐かしく思っていただけたらと思います。それにしても、本年度同窓会に入ってきた新卒が第16期生・・・私が15歳の時に生まれたのですね・・・義務教育が終わるころですか・・・そして、同窓会20周年の時には私が成人する頃に生まれた方々が入会されるのですね・・・。時間は平等に流れているはずなのに、スピードが変わって感じるのも大人になった証拠でしょうか。

さて、同窓会企画局ではいろんな年代の卒業生からの情報をお待ちしております。また、会報やホームページのご意見、ご感想もぜひお聞かせください。

今後ともよろしく願いいたします。

感覚矯正1期 川上 紀子

川崎医療福祉大学同窓会

〒701-0193 岡山県倉敷市松島288

川崎医療福祉大学内同窓会事務局

tel.fax 086-462-8541 月・火・水 9:00~12:00

上記以外の時間留守TELになります。

E-mail : dosokai@mw.kawasaki-m.ac.jp

http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/ds

編集・デザイン 広和印刷株式会社

〒700-0942 岡山市南区豊成3丁目18-7

tel. 086-264-5888 fax 086-262-1525

E-mail : info@kwp.co.jp URL : http://www.kwp.co.jp